

2015年8月6日

## 第67回「保健文化賞」受賞者の決定について

第一生命保険株式会社(社長:渡邊 光一郎)が主催する第67回「保健文化賞」の受賞者が別紙のとおり決定しました。

「保健文化賞」は、1950年に創設されて以来、健康増進、疾病予防などの保健医療分野、高齢者・障害者の保健福祉分野、少子化対策等の多岐の分野において顕著な実績を残された団体および個人を表彰することで、保健衛生の向上に寄与し、この分野における権威ある賞として高い評価をいただけてきました。

第67回となる本年度は、2月2日から4月15日の期間に募集を行い、団体、個人合わせて64件のご応募をいただきました。この度、審査委員による選考のもと、10団体、個人5名の受賞者が決定しました。

これまでの受賞者総数(今回含む)は、654団体、個人336名、合わせて990件にのぼります。

なお、10月に贈呈式を開催し、受賞者には、厚生労働大臣から表彰状を、そして当社からは感謝状とともに賞金(団体200万円、個人100万円)を贈呈します。また、受賞者は贈呈式の翌日、皇居に参内し、天皇皇后両陛下への拝謁を賜ります。

以上

主催 第一生命保険株式会社  
後援 厚生労働省  
朝日新聞厚生文化事業団  
NHK厚生文化事業団

## 第 6 7 回保健文化賞受賞者一覧

受賞者名	都道府県	業績
公益社団法人 北海道家庭生活総合カウンセリングセンター	北海道	専門性を習得するためのボランティアカウンセラーの養成事業、カウンセリングの実践、講演会やキャンペーンなどの啓発事業を展開し、50年にわたり、地域福祉や地域社会における人材育成及びこころのケアのための支援に貢献している。
一般社団法人 震災こころのケア・ネットワークみやぎ	宮城県	東日本大震災により被災された方々へのアウトリーチ型支援を核として、孤立しがちな被災者に対し、サロン活動等により“出会い・つなげる”場を作るなど、様々なこころのケア活動を行い、関係機関との連携を図りながら、被災地域住民に寄り添った包括支援の体制づくりに貢献している。
福島県総合療育センター歯科協会の	福島県	長年にわたり、肢体不自由児施設である福島県総合療育センターにおいて、歯科診療及び母親教室を継続し、一般的に非常に困難とされる障がい児の口腔機能及び口腔衛生状態の改善や、福島県内における他の地域への障がい者歯科診療への協力とネットワークの形成に貢献している。
社会福祉法人 茨城いのちの電話	茨城県	30年にわたり、助けと励ましを求めている人々に対する電話相談を行い、平成3年からは24時間、365日、一日も休まず電話相談を行ってきた他、電話相談員への研修プログラムを充実させるなど質の向上に取り組み、茨城県の自殺予防対策に貢献している。
公益社団法人 日本助産師会	東京都	「助産所業務ガイドライン2014」の普及啓発を図り、安心・安全な妊娠出産への専門的支援をはじめとした環境作りや、「子育て・女性健康支援センター」事業の活動、女性の健康支援活動の展開など、社会構造に合わせた育児支援や少子化対策に貢献している。
特定非営利活動法人 バイオメディカルサイエンス研究会	東京都	産学官民の支援活動を基軸とし、感染症予防対策を中心としたバイオセーフティ技術講習会の実施等、公衆衛生分野における社会的支援と啓発活動を国内外に展開するなど、予防医学分野に貢献している。
特定非営利活動法人 多言語社会リソースかながわ(MICかながわ)	神奈川県	医師、ソーシャルワーカー、法律家などの多様な専門家を擁し、多言語に対応したボランティアの医療通訳派遣事業等により、外国籍県民の医療機関におけるインフォームドコンセントなどの医療の様々な局面で、コミュニケーションの円滑化を図るなど、地域福祉と健康増進に貢献している。
特定非営利活動法人 いのちにやさしいまちづくり ぽぽぼねっと	石川県	がん等の病気、難病や障がいを抱えた方や家族などが経験を活用して、誰もがその人らしく輝き、安心して暮らしていけるために、異世代・異業種・多職種協働の仕組みを行政や企業、医療保健福祉関係者と協力し形成するなど、地域の健康づくり活動の推進に貢献している。
島根県食生活改善推進協議会	島根県	食生活の改善を通じて、地域の健康づくりのため、小児期からの正しい食習慣の確立や生活習慣の普及啓発、食文化の継承にも取り組み、会員数の多い地域では、うすあじのみそ汁を食べている家庭が7割を超えるなどの食生活改善活動の推進に貢献している。
認定特定非営利活動法人 ホームホスピス宮崎	宮崎県	「ホームホスピスがあさんの家」を中心に、約17年間にわたり、ホスピス・緩和ケアの理念を地域に浸透させ、地域協働、医療介護との連携などを通じて、市民が最期まで安心して暮らして生きていける環境を整える活動に貢献している。
福地 義之助	東京都	老年呼吸器疾患の予防と治療の研究を進め、特に慢性閉塞性肺疾患(COPD)の診断レベルの向上と治療に関する国民への啓発など、呼吸器疾患に関する認知度向上ならびに呼吸器疾患を専門とする学術活動の国内外における発展に貢献している。
上島 弘嗣	京都府	40年以上にわたり、わが国の循環器疾患に関する予防医学的な研究に従事し、2つのコホート研究を通じたエビデンスの創出と成果の普及など、公衆衛生活動の推進及び健康増進に貢献している。
伊藤 千賀子	広島県	永年にわたり、原子爆弾被爆者の健康管理並びに医療等の向上において、被災者に寄り添いながら取り組み、原子爆弾被害者の援護全般に寄与するとともに、米国に在住する被爆者の福祉の向上にも尽力するなど、国・地方公共団体の公的救済事業の充実に貢献している。
柳澤 繁孝	大分県	平成14年より、ベトナムにおける口唇口蓋裂患者の形成手術を無償で実施する社会奉仕活動を主導するなど、大分県においてベトナムと日本の国際交流に尽力してきたほか、大分県における地域医療の人材育成に貢献している。
永井 慎昌	鹿児島県	20年以上にわたり、無医村だった鹿児島県島しょ地域において、巡回診療を継続するとともに、常勤医師の派遣に尽力するほか、診療所における診療機器の充実、ITを活用した遠隔診療の導入を推進し、モニター前での診療が可能となるなど、地域医療に貢献している。